

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor Responsável SANEMI HARADA

Diretor Adminis. e Proprietário SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Heliotropos, 127 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

N.º 3.095

SÃO PAULO, Quarta-Feira 21 DE FEVEREIRO DE 1951

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

ANNO XXXIV

句修業の歩み遙々たり蝸牛

惜別を蜜柑の花に秘めて來し

蜜柑花愛て文化に疎く住む

蝸牛や父かたくなにありく生きて

夕日かげまだらにありく生きて

蜜柑の花か蜜柑の花の下

旅へや蜜柑の花の散る石に

雨のてむしの殻が透けみえきねあめ

化粧水にけらぬ花蜜柑

口あいて笑へぬ相思蝸牛

貧はなれずただの百姓でかたつぱり

花蜜柑明くる散れる夕かな

西陽かたむく高校を降る蝸牛

月更けて蜜柑の花の香にいねん

機嫌よき時や角出す蝸牛

花蜜柑に似たり蜜柑の花の散る

わが戀も似たり蜜柑の花の散る

蜜柑花か落し君去れり

雨霽への花叩ふか花蜜柑

思出のふかき蜜柑の花こぼす

花蜜柑露の聲母の膝元に

蜜柑大農場の門構

銀鍍を引きてゆけく蝸牛

閉籠り膝な主婦やかたつぱり

みかん花嫁は尼になりたがり

風輕くみかんの花を吹くかな

かたつむり向ふむきなる恋あかり

花蜜柑潜る近道となりま

背伸してより進むかたつぱり

陽に透きて枝に吹かる、蝸牛

でむしや晴れそうにして又も雨

思ひ出はみかんの花とあうなじ

リソングの花の下で影く姉妹か

蝶牛匍匐してひと日降りやま

井戸端はまだらに花みかん

白雲のものうき雲やかたつぱり

思ひ出はみかんの花とあうなじ

蝶牛匍匐してひと日降りやま

井戸端はまだらに花みかん